



挑戦はつながり、 富士の未来が拓かれる

F-Accel (エフアクセル)

富士市アクセラレーションプログラム

採択スタートアップ報告会・交流会

富士市アクセラレーションプログラムで、地場産業の革新や地域課題解決に挑戦を続けてきたスタートアップが、半年間の成果とこれからのチャレンジを発表します。先輩起業家が語るリアルな成長ストーリーや、地域企業とスタートアップの共創がどのように生まれたのかを知るパネルディスカッションと、新たな事業アイデアや連携が芽生える交流会も開催。富士市発のイノベーションの今とこれからの触れたい皆様、ぜひご参加ください。

参加者
募集!

イベント概要

日時：2026年2月17日(火)
15:30～20:00(途中入退室可)

場所：15:30～富士市交流プラザ(富士市富士町20-1)
18:30～GUEST HOUSE 富士と碧(富士市元町9-3)

対象：スタートアップを応援したい企業、金融機関、
支援機関の方、新規事業に関心のある事業者、起業家など

参加費：無料 定員：50名

主なコンテンツ

- 15:30～16:30
基調講演・パネルディスカッション
- 16:30～18:00
採択スタートアップ報告会
- 18:30～20:00
ネットワーキング・交流会
(飲食あり、企業PRピッチを開催)

【基調講演】



豊澤 一晃 氏
株式会社トヨコー
代表取締役 CEO

【採択スタートアップ報告会】



株式会社 dozo



合同会社ノーエン



株式会社 EN

【パネルディスカッション】



牧田 佳輔 氏
株式会社 田子の月
代表取締役社長



一般社団法人 F-PRIDE



合同会社未来志向 Labo

お申し込み方法

申込フォームはこちら



申込締切：2026/2/15(日)
※ 定員に達し次第 受付終了

【主催】富士市 産業交流部 産業支援課 【お問い合わせ】富士市アクセラレーションプログラム事務局

【ウェブサイト】 <https://be-palette-fuji.com/startup/startup06/>

【メール】 f-accel@tohatsu.co.jp ※本事業は有限責任監査法人トーマツに委託しています

基調講演



豊澤 一晃 氏

株式会社トヨコー 代表取締役CEO

2003年家業の株式会社トヨコー（静岡県富士市青島町）へ入社後、建設業界を3K（きつい・汚い・危険）から3C（Cool・Clean・Creative）に変えるべく、SOSEIやCoolLaserなどのオンリーワン工法を、デザイナーの感性を活かし次々と発案、事業化。2025年3月28日に東京証券取引所グロース市場に上場。「キレイに、未来へ」のミッションのもと、多くの社会課題を抱える建設分野を新しい角度で切り拓くルールメイカーとして、壊さず使い続ける循環型社会の実現に向けた挑戦を続けている。

パネルディスカッション



牧田 桂輔 氏

株式会社田子の月 代表取締役社長

昭和27年創業の「田子の月」を運営する3代目社長。創業者である祖父の、ホームタウンである富士市への強い思い、お菓子を通して世の中を明るくしたいという創業の精神、うまい菓子づくりの品質への誇りを大切にしながらも、変化の早い世の中で「変わることを恐ず」大胆に挑戦することを信条とする。2025年9月に、F-Accel採択者であるEN.社とともに、田子の月鷹岡店内にて、富士山抹茶を気軽に楽しめるカフェ「Mt.FUJI MATCHA CAFE」をオープン。スタートアップ等との共創事業を積極的に実施している。

ピッチ登壇者

※氏名敬称略、会社名50音順
※状況により変更になる場合もございます



中島 吾郎

一般社団法人F-PRIDE 代表

1977年 富士市生まれ（48歳）2007年 北海道富良野市に移住し、作家・倉本聡が主宰するNPO 法人富良野自然塾に合流。2024年 17年ぶりに帰郷し、一般社団法人F-PRIDE設立

- 「富士山」や「駿河湾」の自然と、地域の産業・文化・食を組み合わせ、ここでしか体験できない高付加価値なツアーやアクティビティの企画。富士市から提示されたこの課題を解決するためには、既存の組織を超えた地域カンパニーを創設するのが最適だと考えます。
- 交流観光課・富士山観光交流ビューロー、同じ課題意識を持つ観光関連組織との連携・協議を進め、富士市独自の地域カンパニーを創設し、観光客に地域の魅力を直接伝える「着地型観光」を提供することに全力を注ぎます。



稲生 大輔

株式会社EN. 代表取締役

富士山の麓で育つ抹茶のプロデュースを通じて、富士市の地域資源を再定義を行い、富士市のまちづくりを行なっています。茶農家のMsカンパニーさんと協力関係を築き、茶産業と富士市の活性化を目指します。

- 富士山抹茶を起点に、富士市の自然・文化・人を繋ぎ、地域に人とお金の循環を生み出します。
- 持続可能な産業と誇りあるまちづくりを実現するため、全身全霊でこのアクセラに挑みます。



三浦 弘平

株式会社dozo 代表取締役

静岡出身、6つの新規事業の立ち上げと13年の海外経験、茶農家4年目です。「グローバルでのお茶の価値を高める」をモットーに、日本茶に300年ぶりのイノベーションを起こす「T(ea)X」に挑戦しています。

- 富士市アクセラレーションプログラム「F-Accel」を通じ、静岡発のDIYティーカクテルを海外に発信していくための土壌を固めていきます。
- AIを活用したレシピ開発で、静岡県産の希少なシングルオリジン茶葉や果物などの特産品でブランディングを強化し、グローバルで2兆円規模のティーアルコール市場へ参入します。
- グローバルでの価値を高めるために富士山を含めた、静岡が持っている価値を伝えられるよう商品化に取り組みます。



齋藤 典之

合同会社ノーエン 代表

農業の天候リスクを最小限にするためのアプリケーションを展開しています。生産現場だけでなく、我々消費者に届くまでのフードバリューチェーン全体で気象情報を活用することを目指しています。

- 今は離れていますが富士市で生まれ育ちました。あの頃、行動範囲の全てだった街が新たに変わっていくとする取り組みに、少しは大きくなったであろう自分の力で貢献できることにとてもワクワクしています。
- お茶をはじめとした富士市の農産物の価値を気象情報を使って高める取り組みを、皆さんと一緒に進めていきたいと思っています。



池田 僚介

合同会社未来志向Labo 代表

合同会社未来志向Laboは、富士市を拠点に、地域資源や人のつながりを活かし、新しいライフスタイルや働き方をデザインする取り組みを行っています。

- 日本の最大の魅力は自然です。その価値を後世に残していく為に、地域課題の解決を事業化する仕組みに挑んでいます。
- 本プログラムを通じ、日本の林業のあるべき姿を見据えつつ、富士市発のモデルを全国・世界へ発信し、循環と持続可能な成長に貢献します。
- 富士市の森林資源ヒノキを活かし、心身の健康を育むウェルネスブランドを実現し、伴走支援を通して、地域プレーヤーの皆様と共に、連携して新たな価値創造を推進します。